

しもつけ文化財探訪

第7回 別処山古墳

今月の文化財探訪は、絹板（旧南河内町）に所在する別処山古墳です。この古墳は、昭和61年に別処山公園造成時に発見されました。

発見されたときには、造成工事のために墳丘（古墳の盛土）のほとんどが破壊されていましたが、古墳を復原すると東西に主軸を持つ全長37mの前方後円墳であることがわかりました。造成の際に円筒埴輪や形象埴輪（人物埴輪など）が出土していることから、古墳にさまざまな埴輪が立てられていたことがわかります。

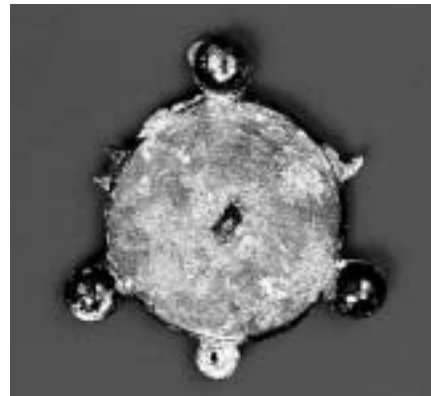
埋葬施設は、長さ3.3m、幅1.2m、高さ1.4mの河原石を積んだ横穴式石室で、南に開口していました。石室は、盗掘されていなかったため遺物の残りがよく、銀装大刀1点、鉄製の矢じり9点、刀子（ナイフ）2点、耳環（ピアス）3点、三鈴鏡1点などが見つかっています。銀装大刀は、柄が銀で装飾された儀式用の刀で柄頭の中には鈴が入っていました。三鈴鏡は、縁に3つの鈴がついている鏡です。これらは、全国的に見ても出土例が少ない、非常に珍しい遺物です。

別処山古墳は、古墳の規模から見ると、広域的な首長の墓というよりも、地域的な首長の墓と考えられます。しかし、石室から出土した刀や鏡などの副葬品からみるとかなりの力を有した人物であったことがわかります。いったいどのような人が、埋葬されていたのでしょうか。

別処山古墳は、別処山公園の南に復原されており、常時見学することができます。



銀装大刀



三鈴鏡



柄頭と鈴

問い合わせ先

下野市教育委員会
文化課文化財係

☎52-1120

次回は「北台遺跡」を探訪します。

天平の丘公園駐車場の一部が閉鎖となります

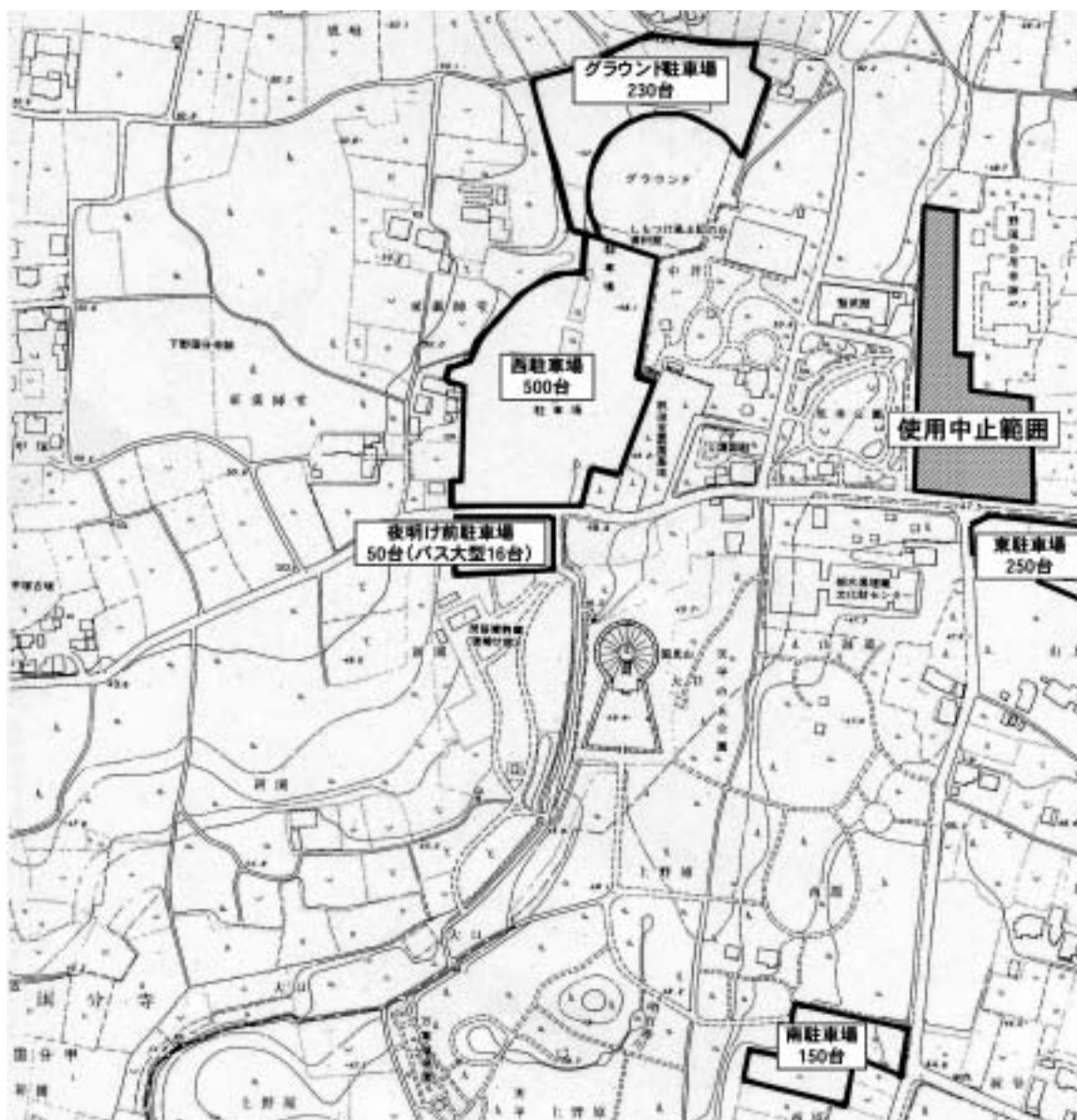
天平の丘公園は、花まつりなどの年間を通じて、多くの皆様にご利用いただいておりますが、特に国指定史跡国分尼寺跡に隣接する駐車場（下図参照）につきましては、桜の樹木の保護や、史跡の保護のため閉鎖することになりました。

今後は、公園として整備し、皆さまの憩いの場として活用していきます。なお、不足する駐車台数は、しもつけ風土記の丘資料館の西側を拡幅いたしましたので、ご利用をお願いいたします。

皆様方には、ご不便をお掛けしますがご理解とご協力をお願い申し上げます。



現在は、夜間などの事故防止のためガードレールにより閉鎖をしております。



問い合わせ先

文化課 ☎52 - 1120